

DO FOR OTHERS
150TH
ANNIV.



MEIJI GAKUIN
UNIVERSITY
明治学院大学

2010年11月4日

マスコミ関係各位

明治学院大学 国際平和研究所・キリスト教研究所 共催

戦後65周年シンポジウム「東アジアの戦後『和解』のために」

～いま何が求められているのか？～

韓国併合100年にあたって発表された「首相談話」の評価は賛否両論、改めて日本の過去の清算が不十分であることが露呈されました。戦後65年を経た現在、日本と韓国・中国をはじめとしたアジア諸国との間で、十分な和解がなされているかは不明瞭です。これまでも政治や経済、また文化交流や市民活動のレベルで、「戦争責任」を果たすための活発な取り組みが行われてきましたが、なかなか進展していないのが現状です。

明治学院大学国際平和研究所は、東アジア諸国と和解するためには、日本が過去の戦争に向きあうことが必要だと考え、東アジアの戦後を考えるシンポジウムを開催いたします。

当シンポジウムでは、「日本がこれほどまでにあの戦争を直視できないのはなぜなのか?」「どうしたら『和解』の実現が可能になるのか?」という本質的な問いにまでさかのぼります。さらに、戦争は「過去」の話ではなく、「現在」もその苦難が続いている点に注目し、戦前生まれのクリスチャンおよび精神医学者と、戦後世代の若手研究者が議論してゆきます。ぜひご参加ください。

- 日時 : 2010年11月14日(日) 13:00~18:00 (受付 12:30~)
- 会場 : 明治学院大学 白金キャンパス 2号館2102教室 (東京メトロ「白金台駅」徒歩7分)
※お車でのお越しはご遠慮ください。
- 内容 : プログラムは変更の可能性もございます。予めご了承下さい。
 - 第1部 (13:00~) 「加害者はなぜ被害者を見いだせないのか?」**
野田正彰 (精神医学者・関西学院大学教授)
司会 : 石田隆至 (PRIME 研究員) コメント : 鄭 栄桓 (PRIME 所員)
 - 第2部 (15:00~) 「クリスチャンとして平和活動に取り組んで」**
中山弘正 (本学元学院長)
司会 : 渡辺祐子 (本学准教授・PRIME 所員) コメント : 猪瀬浩平 (本学准教授・PRIME 所員)
 - 第3部 (16:40~) 「パネルディスカッション・質疑応答」**
野田正彰・中山弘正・鄭 栄桓・猪瀬浩平
司会 : 高原孝生 (本学教授・PRIME 所員)
- 申し込み : 開催前日までに下記、国際平和研究所までお電話ください。
- お問合せ先 : 明治学院大学国際平和研究所 (PRIME) Tel:03-5421-5652 (平日 12:00~18:00)

取材のお問い合わせは…

明治学院大学 広報室 担当: 村上、石井

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37 Tel:03-5421-5165(直通) Fax:03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp

http://www.meijigakuin.ac.jp